

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大分大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオイタダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F144110111418
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大分県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	高度化②「利益共有型インターンシップ(企業型)」
	学部・研究科等名	教養教育科目
	担当教職員名・役職	高見 博之・経済学部教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	6
	受入企業等数	1
	受入企業等名	株式会社オーシー
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	大分県のキャッシュレス化にむけた現状の課題・問題点と具体的推進策等について、企業等からの助言を受けながら、グループワークで検討を進め、役員等の前でプレゼンテーションをする。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年 大学 学部4年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 4単位

2-5.上記回答内容に関する詳細	学部2・3・4年生を対象に、夏季休業期間中、半日×10回のインターンシップを組み合わせた全15日間の教養教育科目として実施している。本科目は、文理融合的な学生のグループが、大分県の経済がより活性化するよう地域の資源を活かし、県内で消費活動をする来訪者や居住者を増加させるしくみを企画することを通じて、自分自身の成長を実感し、地域の活性化に貢献しようとする意欲を高めるとともに、将来の社会人としての基本的な能力を身につけることを目指す。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	半日×2回的事前学習の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解、インターンシップ中の目標設定等を行うとともに、企業の業務内容の確認等をしている。また、インターンシップ期間中における注意事項等を説明している。さらに、課題解決に必要な知識・スキルとして、経済学的な考え方（比較優位・分業の利益等）・マーケティング入門・経営戦略論・ゲーム理論等について講義を実施している。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	受入企業の役員の前で、インターンシップ成果報告会を実施している。また、レポートの作成を通じて、インターンシップを振り返る機会を設けている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ中は、学生と共に教職員が企業に赴き、必要に応じて学生に助言等を行っている。また、半日のインターンシップの前後に大学での講義時間を設定し、事前学習の際に設定したインターンシップ中の目的達成に向けた指導を行っている。

要素③

要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
4-3.上記回答内容に関する詳細	学生に対し、インターンシップ参加前後の自身の能力や考え方の変化を把握するためのアンケートを実施し、自己理解を促している。これまでの学修の深化や今後の大学教育への動機づけに資するような指導を行っている。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	半日×10回（連続した10日間ではない）とフィールドワーク2日間合わせて、実質7日間のインターンシップ期間を確保している。また、インターンシップに付随した事前学習を半日×2回実施するとともに、半日のインターンシップの前後に大学での講義時間を設定し、事前学習の際に設定したインターンシップ中の目的達成に向けた指導を行っている。
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細	半日×10回（連続した10日間ではない）とフィールドワーク2日間合わせて、実質7日間のインターンシップ期間を確保している。また、インターンシップに付随した事前学習を半日×2回実施するとともに、半日のインターンシップの前後に大学での講義時間を設定し、事前学習の際に設定したインターンシップ中の目的達成に向けた指導を行っている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
		6.企業と協働して、PDCAを実施している

	<p>6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容</p> <p>6-3.上記回答内容に関する詳細</p>	<p>事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に理解してもらい、そのニーズに応えられるようにするため、プログラムの設計段階から参画してもらう。また、事前学習にも受入企業に参加してもらい、企業の概要や学生に期待していることなどを説明してもらう。さらに、インターンシップには大学教職員が同行し、学生の学びを支援している。最終的には、受入企業の役員の前で、成果報告会を実施し、関係者全体で成果を共有できる体制を整えている。</p>
	<p>7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL</p>	<p>・ http://www.kyomu.oita-u.ac.jp/kyomu/kyoyo_syllabus/06.pdf</p> <p>・ http://www.cocplus.oita-u.ac.jp/university-project</p>
<p>問 い 合 わ せ 先</p>	<p>大学等名</p>	<p>大分大学</p>
	<p>担当部署名</p>	<p>学生支援部教育支援課地域連携プラットフォーム推進グループ</p>
	<p>担当者役職名</p>	<p>一般職員</p>
	<p>担当者氏名</p>	<p>田頭 慶樹</p>
	<p>電話番号</p>	<p>097-554-7913</p>
	<p>メールアドレス</p>	<p>cocsuishin@oita-u.ac.jp</p>